

## 6日 土曜

### ヨブ記



- 19:21 あなたがた、私の友よ。  
私をあわれめ、私をあわれめ。  
神の御手が私を打ったからだ。
- 19:22 なぜ、あなたがたは神のように、  
私を追いつめ、私の肉で満足しないのか。
- 19:23 ああ、今、できれば、私のことばが  
書き留められればよいのに。  
ああ、書き物に刻まれればよいのに。
- 19:24 鉄の筆と鉛とによって、  
いつまでも岩に刻みつけられたい。
- 19:25 私は知っている。  
私を贖う方は生きておられ、  
後の日に、ちりの上に立たれることを。
- 19:26 私の皮が、  
このようにはぎとられて後、  
私は、私の肉から神を見る。
- 19:27 この方を私は自分自身で見る。  
私の目がこれを見る。  
ほかの者の目ではない。  
私の内なる思いは  
私のうちで絶え入るばかりだ。
- 19:28 もし、あなたがたが、  
事の原因を私のうちに見つけて、  
「彼をどのようにして  
追いつめようか。」と言うなら、
- 19:29 あなたがたは剣を恐れよ。  
その剣は刑罰の憤りだから。  
これによって、あなたがたは  
さばきのあることを知るだろう。

ヨブにとっては全ての人が敵となってしまいました。また神からもせめられ、何よりその体は骨と肉が病み、皮にいたってははぎとれるほどの苦しみです。なぜそのような目に...。それもまた苦悩を増

すばかりです。

その中で彼は「贖う方」を求めるに至りました。贖いとは、代価を払って救い出してくださいということです。そのような方がいたら、ヨブはどれほど救われたことでしょうか。

私たちには贖い主である主イエスがおられます。ただ漠然と「イエス様」というだけではなく、苦しい中でこそ、ヨブのようにその本質的な救いの恵を体験できるのです。贖いを感謝し、その力を信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

